

式 辞

満開だった桜の花に変わり、いのちの息吹を感じる若葉の季節となりました。

本日ここに、多くのご来賓の皆様、そして、新入生保護者の皆様の御臨席を賜り、令和七年度、新居浜市立船木中学校入学式を、このように盛大に挙行できますことは大きな喜びです。心より感謝申し上げます。

伝統ある船木中学校に入学された五十六名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しい制服に身を包んだ皆さんの顔が、姿が、とても輝いています。新しい環境、新しい出会いに、期待と喜びで胸がいっぱいのことでしょう。私たちも、皆さんの入学を心待ちにしていました。私たちの仲間になってくれて、ありがとうございます。今日からは皆さんは、船木中学校の大切な仲間です。一日も早く中学校生活に慣れて、勉強や運動、文化活動に力いっぱい取り組み、充実した毎日を送ってください。

それでは皆さんに、本校の校訓についてお話します。この

ステージの上、皆さんの正面に、「不屈」と書かれているの
が見えますか？ 「不屈」これが船木中学校の校訓です。
「不屈」とは、どんな困難や苦労にもくじけないこと、負け
ないことを言います。この校訓には、具体的に三つの誓いが
あります。それを紹介します。

一つ目は、「私たちは勉学の困難に屈しません。」
勉学とは、勉強のことです。知識や技能を学ぶこと、習うこ
とです。しかし、勉強が好きな人はなかなかいません。苦手
な教科だとなおさらでしょう。ですが、その困難さに耐え、
乗り越えてこそ、今まで知らなかったことが知れたり、でき
なかったことができるようになるのです。つまり、勉強は点
数を取るためにやるのではなく、自分の可能性を広げるため
にやるものなのです。今から二年後には、高校を受験したり、
就職をしたりすることになります。その時まで、できる
だけ自分の可能性を広げていきましょう。自分が本当にやり
たいことを見つけていきましょう。これが、勉学の困難に屈
しません、の意味です。

次に二つ目です。「私たちは不正の圧力や誘惑の力に屈し

ません。」

不正の圧力とは何か、たとえばいじめで考えてみましょう。「いじめはいけないことだからやりたくない。でも、自分だけいい子のふりをしていると、今度は自分がいじめられるかもしれない」そんなふうに考えたことはありませんか？ そのような雰囲気、空気があること自体がおかしいのです。そんな時は、おかしいことはおかしいと、勇気を持って言うてほしい。それが難しければ、先生や親に相談してください。相談することは、決して告げ口ではありません。不正の圧力に屈しないことです。また、誘惑の力とは何でしょう。皆さんが家に帰って一番時間を使うことは何ですか？ 私が接してきた中学生のほとんどが、ゲームやYouTubeに一番時間を使っていました。それも、何時間も、です。それぐらい面白いのかもしれませんが、一日は二十四時間と限られています。時間がもつたいない。中学生の間しか、今しかできないことがたくさんあります。先ほども話した勉強に力を入れたり、実際にからだをつかった体験をしたり、家族や友達と会話することに、多くの時間を使うようにしてください。

これが、不正の圧力や誘惑の力に屈しません、の意味です。

最後に三つ目、「私たちは鍛錬の厳しさに屈しません。」
鍛錬とは、厳しい訓練によって、心や体、技術や技能を鍛えることです。最近では、できるだけ苦勞をしない方がいいこととだ、みたいな世の中になってきていますが、ほんの数十年前なら、「若いころの苦勞は買ってでもしろ」とよく言われたものです。どちらが正しいとは言えませんが、「若い時に流した涙は、将来ダイヤモンドに変わる」と言われます。「若いころに流さなかった汗は、年老いて涙に変わる」とも言われます。今、この瞬間の楽しさや樂をすることを選ぶのか、それとも、自分の目標達成や将来の夢のために、少々の苦勞には負けない強い自分になることを選ぶのか、それを決めるのは、皆さん一人一人です。これが、鍛錬の厳しさに屈しません、の意味です。

皆さん、校訓「不屈」が理解できましたか？ もしかしたら、難しく、古臭いものと感じるかもしれませんが、しかし、これまでに多くの先輩方が、この三つを胸に、この船木中学校を卒業し、社会で活躍しているのです。何を隠そう、私も

その一人です。苦しい時、悩んだ時など、いつもこの「不屈」の三つの誓いを思い出し、人生を切り開いてきました。是非、皆さんにもそのような人生を歩んでもらいたい。そのための基礎を、土台を、この船木中学校の三年間で身に付けてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。御来賓の皆様、御多用の中、子どもたちの晴れの舞台に御同席いただき、心よりお礼申し上げます。これからも、学校と家庭、地域が一つになり、子どもたちの本当の幸せを第一に考え、皆で協力していけたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

結びになりましたが、新入生の皆さんが、今から三年間で校訓「不屈」を自分のものとし、どんな困難にも負けずに、人生を切り拓いていける力を身に付けてくれることを祈念し、式辞といたします。

令和七年四月九日

新居浜市立船木中学校 校長 越智 誠司

